

二 部 地 区 活 性 化 だ よ り

野上川の風

発 行
二部地区活性化推進機構

編 集
総 務 部 会

事 務 局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二 部 公 民 館 内
TEL・FAX 0859-62-7159



第四十五回全農乾椎茸品評会開催

林野庁長官賞受賞

六月十四日に鳥取市で開催された第四十五回全農乾椎茸品評会において、影山千世子さん（「上どんこ」の部）と細田朋子さん（「花どんこ」の部）が林野庁長官賞を受賞されました。受賞までのご苦労は大変なものであったろうと思います。

このような女性の活躍は、地域を元気づけるのみならず、当機構で取り組んでいる「とっとり共生の里づくり」協定での特産品の育成にもつながるものと期待されます。

お二人の受賞をともに喜びましょう。

受賞の喜び

影山 千世子

本当に夢のようです。これも多くの方々のご支援とご指導のたまものと感謝しています。これを契機に、さらに生産技術の向上に励み、良品を作りたいと思っています。

細田 朋子

この度は、大変嬉しく思っています。原木しいたけ作りは、自然との戦いで、本当に辛い日々の連続で、この日々の努力が評価されたものと感謝しております。

これも皆様方のご指導があったからです。言葉では意を表わせませんが、本当に有り難うございました。来年も全農乾椎茸品評会に向けて年齢に負けずに山に足を運び、頑張りたいと思います。

会長就任挨拶

会長 田邊 公教



この度、平成二十四年度の委員総会において、再度、会長をさせて頂くことになりました。もとより、その職務

の重さを、今更ながら痛感いたしているところでもあります。任期中、大変ご迷惑をお掛けすることと思いますが、役員・委員の皆様のご指導とご協力を頂きながら、その職務を懸命に果たしたいと思っています。

さて、本年二月に当機構は、共同通信社主催による第二回地域再生大賞の「優秀賞」を受賞しました。これは、前会長を始め、委員と会員の皆様が成し遂げられた実績の賜物であると改めて敬意を表すとともに、後を引き継ぐ者として、その責務の重大さに身の引き締まる思いで、その榮譽に恥じない活動をこれからも続けていきたいと思っています。

各部会において、新しい事業等も検討していますので、これまで以上に事業推進にご協力いただきますようお願いいたします。また、今年の九月二十九日、三十日には、第三十回地域づくり団体全国研修交流会鳥取大会が開催され、伯耆町においても、当機構と丸山集落とで分科会を担当することになっており、その成果が期待されております。

どうか、今後ともご指導・ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

不法投棄ゼロに向けて

住みよい環境部会長 影山 辰雄

春と秋の一斉清掃、そして野上川のヨシ刈り作業には、地域住民の方にご協力いただき、ありがとうございます。

地域住民をはじめ、二部地区を訪れたり、通過する方などのマナーの向上に伴い、回を重ねるごとに一斉清掃で収集するゴミの量は減少しております。

しかし、人目に付かない場所では、まだまだ不法投棄はあります。その対策として、今年度は、不法投棄ゼロ化に向けての事業に取り組みます。

最初の取り組みとして、特に不法投棄が多い道路脇を中心に不法投棄防止看板などの設置を行ないます。この看板などの設置により、少しでも不法投棄が無くなればと考えております。きれいな二部地区にしていきたいでしょう！



〔春の一斉清掃〕

何事にも挑戦

産業振興部会長 車 睦宏

この度、部会長の重責を受けることになりました。当部会では、平成二十四年度、「何事にも挑戦」を合言葉に、次の事業を実施します。

皆様方のご指導・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

山菜育成・特産物の育成・集荷、山菜賞味会支援

山菜・特産物の育成・集荷に取り組みます。また、山菜賞味会で様々な山菜と料理方法を紹介します。

遊休農地の現状把握と調査

遊休農地を調査し現状を把握して、その対策を皆様方と協議する機会を設けたいと考えております。

盆花栽培・販売、農産物販売

お盆前に行なう盆花・農産物販売やたたらまつりで農産物販売を行ないます。また、さらに多くの方に栽培・販売していただけるように活動します。

新地域特産物生産、販売促進支援（どぶろく支援）

新たな地域特産物、農産物加工品の開発に協力し、販売促進支援を行ないます。また、来年三月頃に開催予定の「全国どぶろく研究大会」に向け、どぶろく支援を行ないます。

共生の里づくり支援

年々、農産物を栽培・販売していただく方も増加しています。今年は、津田かぶ・二十日大根などの栽培を計画しています。

堆肥「バギューン」の販売促進支援

堆肥を取り扱い、農産物の販売促進支援を行ないます。



〔山菜出荷〕

第2回

地域再生大賞 優秀賞 受賞



当機構の活動内容が全国的にも認められました。

花の咲く地域

趣味と生きがい部会長

浅田恵美子

当部会では、六月二十三日（土）午前十時から一時間、二部公民館敷地内にある花壇の草取りを行い、幸せを運び花が長く楽しめそうなペンタス・インパチェンスの苗を植えました。

この日は、暑い日でしたが、六名の方にご協力いただき、一生懸命、汗を流しながら頑張りました。

秋まできれいな花がみられるように願っています。



〔花壇づくり〕

部会活動の思い出(住民との絆)

福祉ボランティア部会長

中田 壽國

機構発足以来、当部会で活動をさせてもらっています。平成十一年四月、当機構が発足しました。そのときの部会の事業計画は、①高齢者、障がい者への支援活動、②青少年健全育成及び小学校行事への協力（鳥の巣箱づくり、三世代キャンプ ほか）、③道路、河川周辺の一斉清掃活動などがありました。二部小学校での田植え、稲刈り、竹トンボづくりなどの手伝いを会員の協力を得て実施しました。

また、当時、二部地区では上下水道の設備が未整備であり、道路、河川の一斉清掃は、当部会が担当で実施していました。実施当初は、ゴミの量、そして不法投棄も多く、収集した品目の仕分け作業と対応に苦慮しました。その後、

住民のマナーアップ、啓発活動などによりゴミの減量化が進むと同時に、きれいな川と美しい道がよみがえりつつあります。

平成十二年十月の鳥取県西部地震発生後、三週間余りが過ぎた頃より、当部会が主体となり被災した一人住

まいの高齢者世帯の家財道具の片付けなどの支援活動を行いました。この活動は、「住民自身で支援活動」とマスコミでも大きく報道されました。このような活動ができたのも部会員をはじめ、多くの地域住民の協力があってこそ実施できたものです。

今後、当地区は、急速な少子高齢化が進行します。当機構の活性化と発展、そして住民相互の連携（絆）が必要であると思います。



〔野外活動ボランティア〕

基礎体力づくり

健康スポーツ部会長

大森 英一

本年度の部会員が決まり、七月二日、最初の部会を開催し、本年度の事業について意見交換をしました。

今年度、地域健康ウォーキングを復活させます。久しぶりのウォーキングということもあり、「基礎体力づくりと癒しの場」となるよう計画しました。そして、カローリング、グランドゴルフも開催し



〔カローリング〕

ます。これまで参加していただいた方は経験済みですが、ゲームが始まれば歓声が上がリ、生き生きとしたプレーが見られます。それにもまして好評をいただいているのが、参加者にもれなくお渡ししている賞品です。あくまでも健康づくりが目的ですが、交流を通して皆さんの癒しになり喜んでいただければと思います。

こうした楽しい時間を提供できるよう部会員一同、頑張つてまいります。

また、今年度は、こうした事業が地域の方に周知しきれていないと感じているため、皆さんが参加し易いように開催時期、内容等を精査し、もっと参加していただけるように工夫していきます。皆さん、一緒に楽しみましょう！

トライアスロン選手に熱くなる二部応援団



7月15日に開催された第32回全日本トライアスロン皆生大会に出場した後藤事務局員は、おかげ様で完走しました。

仕事や活性化にも一生懸命トライしてくれてます。（事務局長）

二部地区のPR

ファンクラブ部長 藤田 常雄

今年度の当部会は、①二部地区の情報発信、②交流イベントの支援、③「ふるさと小包便」の発送、の3つの事業を実施します。

①では、二部地区マップを活用して、ふるさと小包便を購入いただいた方や二部地区に來られた方などに配布し、二部地区の魅力を広くPRします。

②では、山菜賞味会への協力と、新たな交流会の開催を検討します。

③では、七月と十二月に「ふるさと小包便」を発送します。皆様に喜ばれる商品、満足感を与えられる商品構成となるように取り組みます。

ファンクラブ部会の活動も五年目となりますが、まだ方向性を模索しながら取り組みをしているのが現状です。皆さんからの多種多様なご提案をお待ちしております。



〔ふるさと小包便〕

第30回 地域づくり団体全国研修交流会鳥取大会

9月29・30日に鳥取県で第30回地域づくり団体全国研修交流会が開催されます。

伯耆町においても、当機構と丸山集落とで、「水をいかしたまちづくり」のテーマで分科会を開催いたします。

全国から來られる皆様の意見をお聞きし、当機構の活動に反映していければと考えています。



短歌

父が逝き 母も送りて 子も巣立つ
この安らぎは 二人だけのもの

子らの名が 標札に残りて 年を経ぬ
今朝はつばめの 巣立ちを見たり

神庭 賢暁

俳句

短冊に 思いをこめて 結ぶ子ら
朝顔の 花びらつんで 並べたり

澤田 八重子

大輪の ひまわり陽を受け 氣持よく
五月晴れ 水面にかけた 鯉のぼり

米原 末子

名月を 孫と見上げて 父母を想う
年賀状 図柄よきと 皆ほめる

杉本 和恵

朝顔が きゅうりの陰に 見え隠れ
初霜に 蛙あわてて 冬支度

山口 代子

裏庭の カエル二匹が 大合唱
朝露を 踏んで見廻る 稲田かな

奥田 清子

紫陽花も 白かと思えば 紫に
ほんのりと 稲穂を照らす 名月が

濱 秋子

初夏の夜に 蛙よろこび 歌くらべ
盆むかえ 子・孫の声 ついそこに

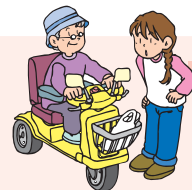
米原 圭子

新緑の 中にねむの木 際たちて
雷鳴に 肝玉ひやす 子猫かな

樋口 春子

多々楽学園に参加して

澤田 恭輔



久しぶりに学園に出席しました。今回は、「自分で守ろう自分の事は」という演題で、溝口駐在所の落合さんが講演されました。ユーモアを交え、上手に話をされたことが印象に残っています。また、「私は大丈夫！」という人ほど振り込め詐欺に騙されやすいことや、高齢者の事故の多くが、身体機能の低下によるものということを聞き、ショックを受けました。

振り込め詐欺は、周りの人に相談することが必要で、普段の人の繋がりが大切になるということ、また高齢者の車の運転では、自分の身体機能の衰えを考慮しながら、無理のない運転をしなければいけないと強く感じました。



〔多々楽学園〕

あどがき

今年も暑い夏が続いています。この暑さが作物に与える影響はどうでしょうか。

皆様のお手元にこの「活性化だより」が届くころには、少しは涼しくなっていると思いますが。

今年度は、「野上川の風」を二回発行しようと計画しています。

「事務局だより」も発行されるようになりましたので、補完し合いながら二部地区活性化推進機構の活動をより多くの皆様に詳しく知っていただけるようにしたいと思います。また、「野上川の風」では、当機構が取り組む事業にとどまらず、広く二部地区の活性化につながる様々な取り組みを紹介して行こうと考えています。元気がでるような、会員の皆様の情報提供や投稿をお待ちしています。